

2001年第7週報告分

- 発生動向総覧／調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾患集計表
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 疾病別グラフ
- 感染症トピックス
《無菌性髄膜炎》

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



（全数情報）

細菌性赤痢が5件届出された。国内での感染が推定されている50歳男性は下痢、発熱、腹痛があり、菌型はフレキシネル3aだった。渡航歴がなく、同居者に同様の症状の者はいない。現在のところ感染原因、感染経路は不明である。国外での感染が推定されている4件はソンネ2件（推定感染地：インド1件、インドネシア1件）、フレキシネル4a 1件（推定感染地：ベトナム）、ソンネとディセンテリーの混合感染1件（推定感染地：インド）だった。

アメーバ赤痢3件はいずれも国内での感染が推定されており、感染経路は男性同性間性的接触1件、不明2件である。

急性ウイルス性肝炎2件はいずれも国内での感染が推定されており、A型肝炎1件（推定感染経路：経口感染）、B型肝炎1件（推定感染経路：不明）だった。

劇症型溶血レンサ球菌感染症が1件届出された。患者は初診当日に死亡したが、剖検死体の下肢軟部組織擦過物の培養でgroup A Streptococcus が検出された。なお、平成12年には10件の届出があったが、うち5件が届出時点で既に死亡しており、本症の死亡率の高さを裏付けている。

ジアルジア症4件はいずれも経口感染（推定感染地：ガーナ2件、国内2件）だった。

髄膜炎菌性髄膜炎1件は26歳男性であり、髄液からB群髄膜炎菌が検出された。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件が1件届出された。57歳男性で、感染経路は不明である。

マラリア1件はパプア・ニューギニアでの感染が推定されている三日熱マラリアである。

（推定される感染地域は、医師の届出によるものです。）

（定点情報）

インフルエンザの報告数は増加しつつあるが昨年同期と比べて3分の1以下である。

感染性胃腸炎、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎の報告が多い。

（病原体情報）

- ・病原体定点病院から搬入された上気道炎の患者などから検出されたMRSA 6株中4株はコアグラ-ゼII型であった。
- ・髄膜炎患者の髄液由来の髄膜炎菌は血清型：B群であった。
- ・インフルエンザ、下気道炎、急性胃炎の患者4名の咽頭拭い液からAソ連型インフルエンザウイルス2件、A香港型インフルエンザウイルス2件が検出されている。
- ・肺炎、上気道炎、川崎病などの患者6名の咽頭拭い液4件および便2件からアデノウイルス遺伝子が検出されている。
- ・突発性発疹患者の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス7型が検出されている。

- ・感染性胃腸炎集団発生9事例の検体65件のうち4事例15件からSRSVが検出されている。
- ・多摩支所に搬入された感染性胃腸炎9検体のうち2件からSRSVが、1件からロタウイルスが検出された。
- ・多摩支所に搬入されたインフルエンザ疑い患者の咽頭拭い液22件のうち5件からインフルエンザウイルスが検出された。内訳はAソ連型4件（立川市：12歳女、武蔵村山市：18歳男、八王子市：4歳男、小金井市：1歳男）、B型1件（府中市：24歳女）であった。

（その他の情報）

インフルエンザ、上気道炎、髄膜炎・脳症、熱性痙攣、胃腸炎の検体が搬入されている。

今冬季都立衛生研究所で行った感染症発生動向調査定点の由来検体の検査において、インフルエンザウイルスは30件から検出され、その内訳はAソ連型（AH1）7件、A香港型（AH3）13件、B型10件である。一方、学校集団発生の検体からは49件検出されており、その内訳はAソ連型（AH1）31件、A香港型（AH3）5件、B型13件である。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

台東区

- ・発熱を伴う嘔吐、下痢症例が増加。
- ・保育園にて水痘流行中。

千代田区

インフルエンザ様感冒 平均5日間で

1. 風邪症状で発熱（高熱が続く）がみられる。
2. 下痢及び嘔吐症もかなりある。

品川区

手足口病4例は同じ保育園の同クラスです。

中野区

区内の1幼稚園にて感染性胃腸炎が多発している。

調布市

20歳女性 インフルエンザOIAテストで陽性

全数届出患者数一覧表 2001年7週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		4週	5週	6週	7週	7週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ・ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ					
	細菌性赤痢	1		1	5	11
	腸チフス					
	パラチフス					
	急性灰白髄炎 ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	1			8
四類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	1	1	3	6
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病	2				
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)		4	6	2	3
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症			1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	
	後天性免疫不全症候群	8	5	8	6	10
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	1	2	2	4	2
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎				1	1
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					
	デング熱		1			
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	4	2	2	4	1
	破傷風					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	1
	ハンタウイルス肺症候群					
Bウイルス病						
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア	1		1	1	1	
ライム病						
レジオネラ症		1				

東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/02/21集計)

定点報告疾病集計表（男女別）

疾病名	性	2001年 週				累計
		4	5	6	7	
インフルエンザ	男	73	115	182	246	616
	女	57	80	138	188	463
咽頭結膜熱	男	3	6		2	11
	女	2	4	1	4	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	26	51	54	26	157
	女	38	51	47	21	157
感染性胃腸炎	男	543	598	628	580	2349
	女	629	569	630	523	2351
水痘	男	82	84	90	76	332
	女	80	77	80	88	325
手足口病	男	4	6	3	6	19
	女	2	5	3	4	14
伝染性紅斑	男	41	41	38	25	145
	女	40	39	26	22	127
突発性発疹	男	38	28	25	21	112
	女	32	35	32	24	123
百日咳	男					
	女	1				1
風疹	男		2		3	5
	女	1	1			2
ヘルパンギーナ	男	1	2	2	3	8
	女	3	3	3	1	10
麻疹(成人以外)	男	7	3	6	9	25
	女	8	5	6	2	21
流行性耳下腺炎	男	48	75	58	55	236
	女	41	73	55	55	224
不明発疹症	男	2	6	3	5	16
	女	1	2	4	3	10
MCLS	男	2	1		1	4
	女	1	1			2
急性出血性結膜炎	男				1	1
	女					
流行性角結膜炎	男	10	7	19	10	46
	女	11	26	7	13	57
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男					
	女			1	1	2
マイコプラズマ肺炎	男					
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男					
	女		1		1	2

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

年齢階級別累計表(2001年7週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月				6	4			2									
～1歳	5			29	9			31								1	
1歳	11	1	3	90	19	4		7				1	6			1	
2歳	12	1	4	76	24		1	2		1	1	1	11			2	
3歳	22	1	4	77	38	2	5	1		1	1		10		1	1	
4歳	25		8	82	25		10	1					12		1	2	
5歳	22	1	5	92	15	3	6	1				1	23				1
6歳	27		5	73	12	1	6			1		1	18				
7歳	13		8	67	4		4					1	9				
8歳	13		2	62	5		5						5				
9歳	14		1	46	3		3				1		4				
10～14歳	46	1	5	106	3		5				1	5	11	1	1	1	
15～19歳	43	1		46	1		1										
20～29歳	65		2	251	2		1					1	1			4	
30～39歳	64															4	
40～49歳	30															5	
50～59歳	12															5	
60～69歳	6															2	
70～79歳	4																
80歳以上																	
合計	434	6	47	1103	164	10	47	45	0	3	4	11	110	1	23	8	1
先週比	114	5	-54	-155	-6	4	-17	-12	0	3	-1	-1	-3	1	-3	1	1

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年7週)

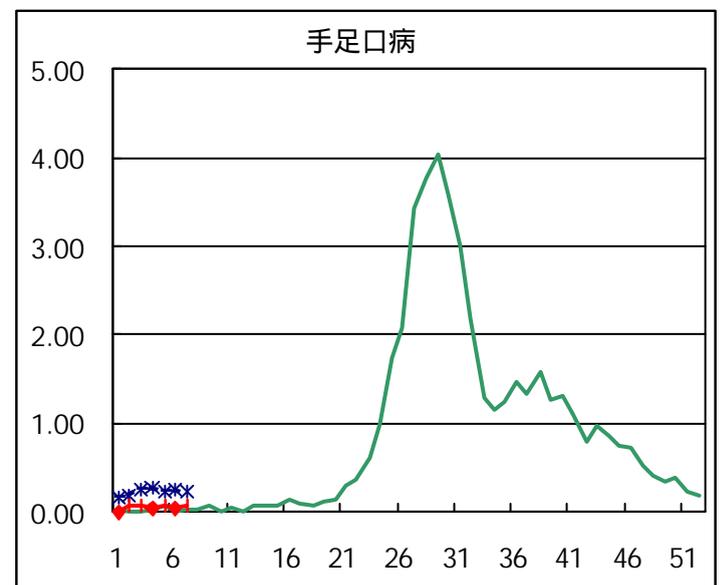
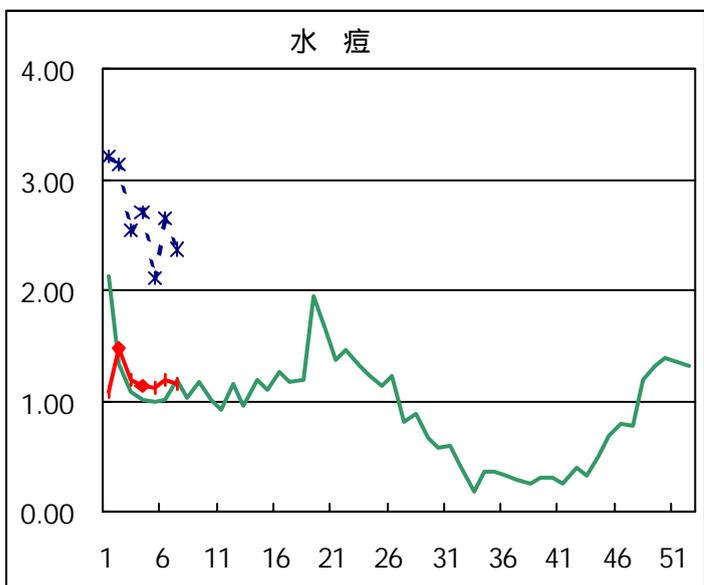
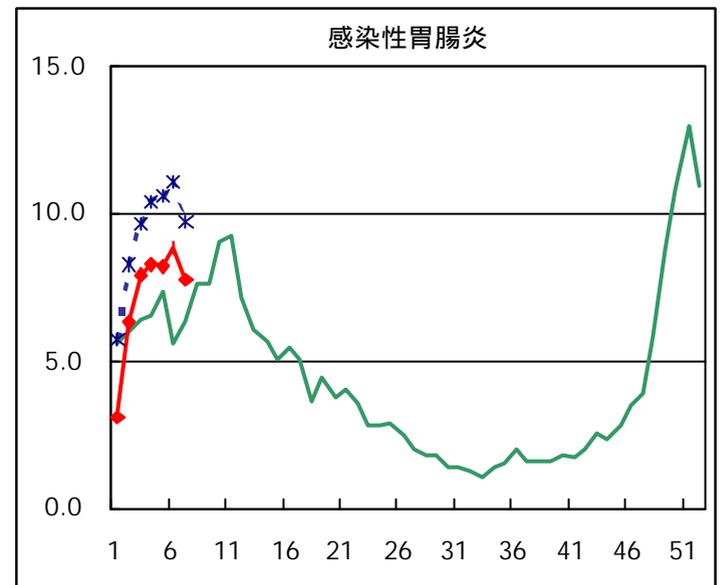
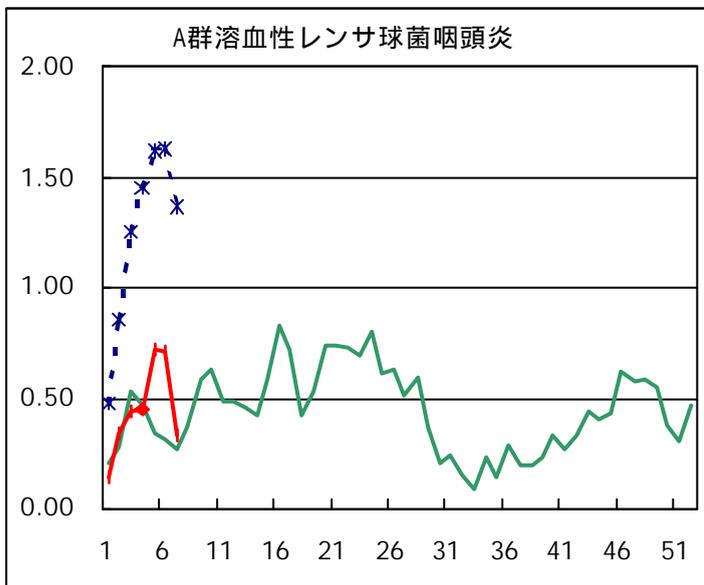
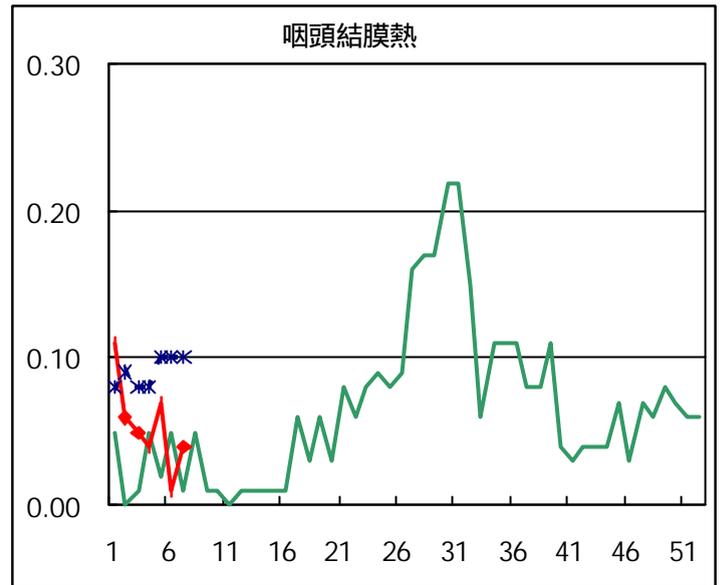
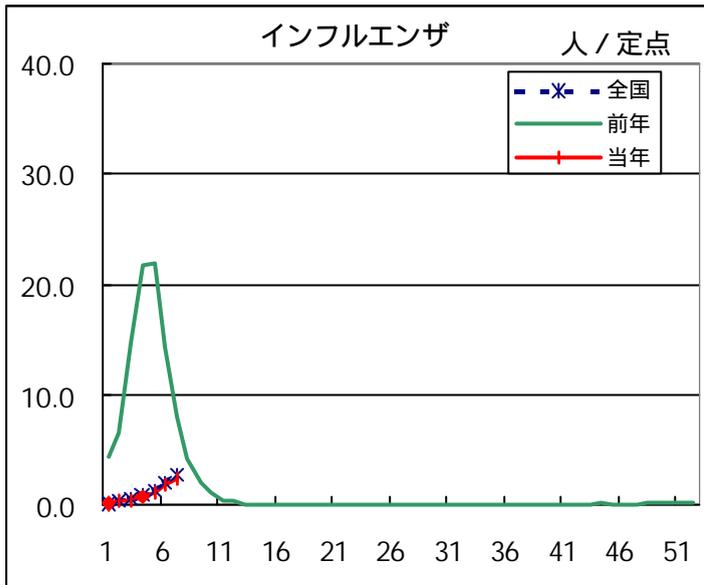
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央	1			7	5													13
日本橋				1														1
世田谷	15	1	1	94	26		2	4				2	3					148
渋谷区	11			60		1							4					76
池袋	5			9	1						4				2			21
長崎				6			1											7
荒川	12		1	11			1						1		2			28
足立	5		2	65	4		1	3					7					87
葛飾	2		2	29	8		7	2					5					55
江戸川			1	31	1		4						3			2		42
小岩				9	2		2						3					16
台東	3		6	39	14		6						7					75
目黒区	3			18	3		1						1					26
大田区	3		4	45	12		1	4					7			2		78
杉並	8			22	4			1					5					40
北区	35		3	21	12		3	5					3					82
板橋区	40		3	29	1			2										75
みなと			1	5	11		1	1				1	1		3			24
中野区	21			67	8			1					8					105
新宿区	29			53	3		1						1		6	1		94
品川区	7	2		50	1	4	1	2					4				1	72
千代田	20			5														25
練馬区	30		2	37	7			1					5					82
文京	8			23				2							3			36
墨田区	6			28	1													35
江東区	1		4	22	6								3		3			39

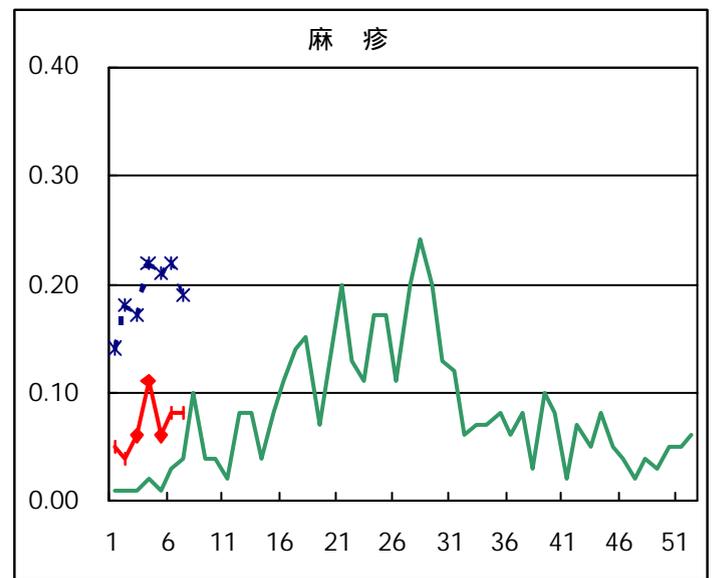
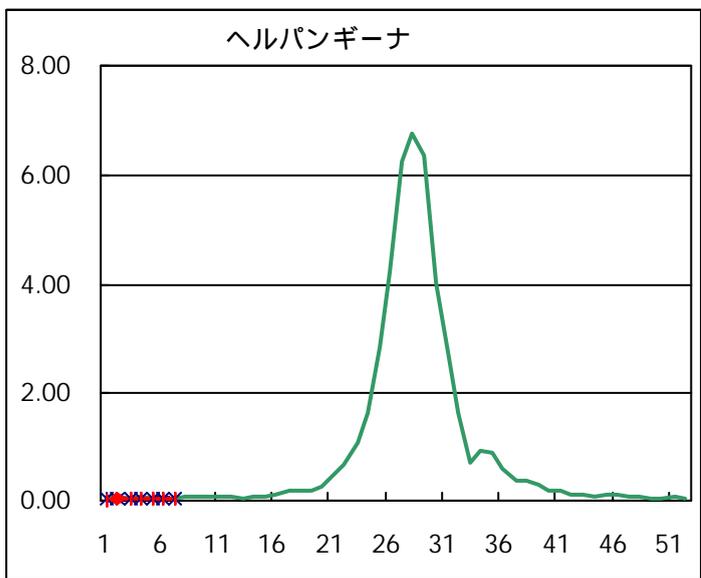
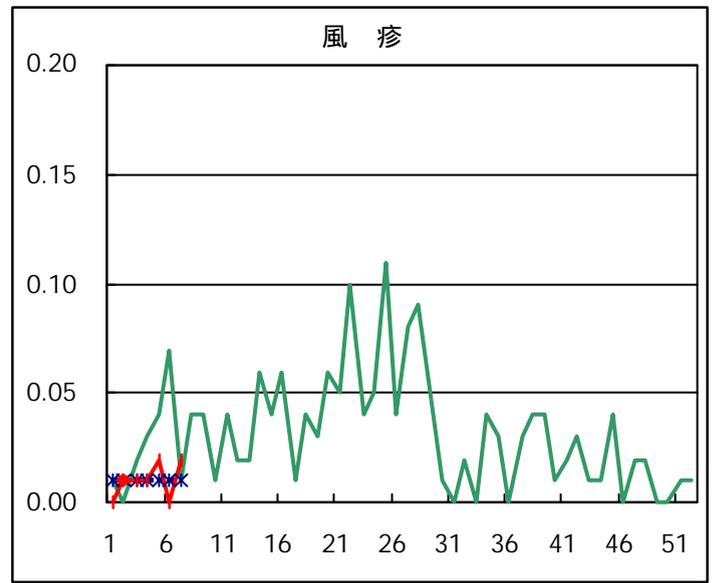
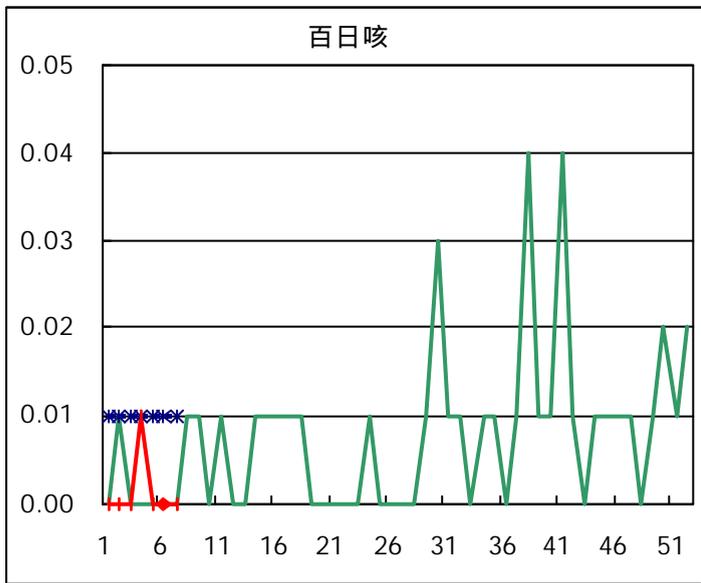
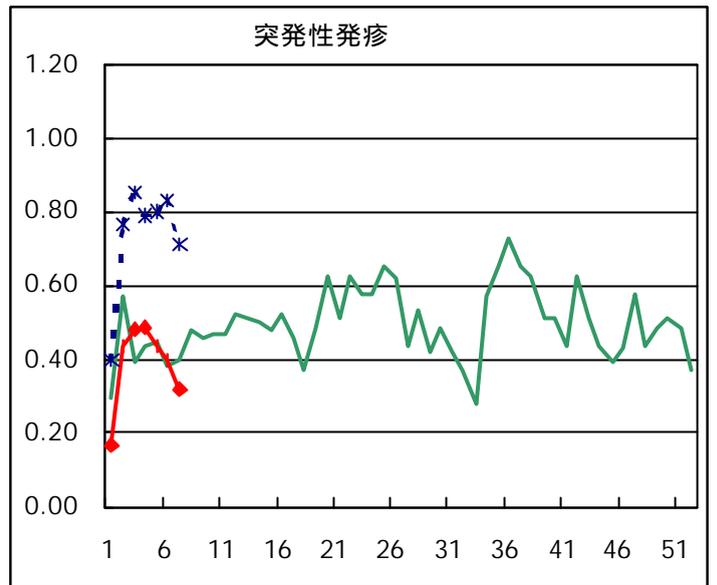
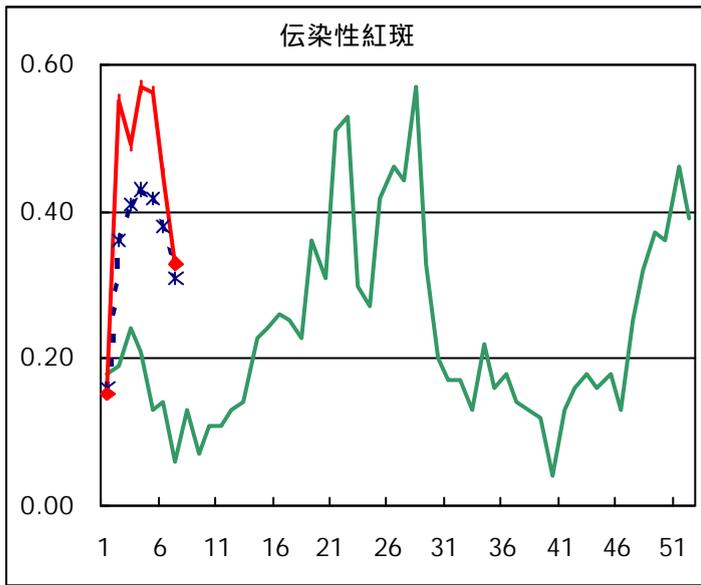
保健所別累計表 (2001年7週)

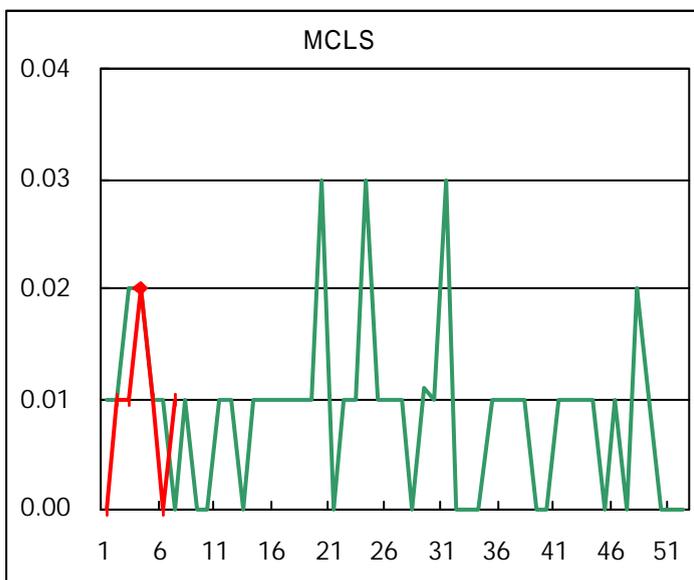
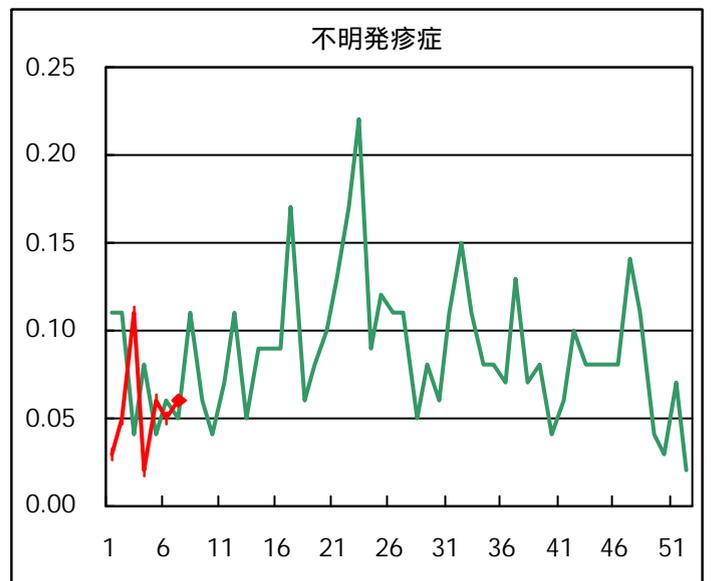
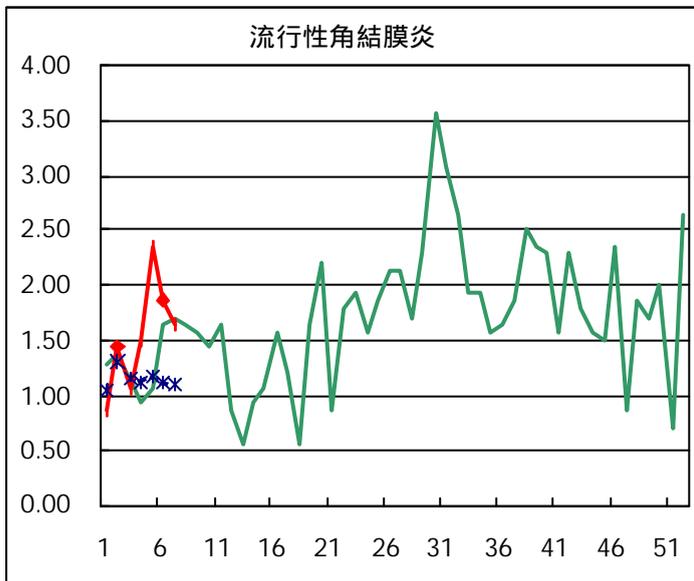
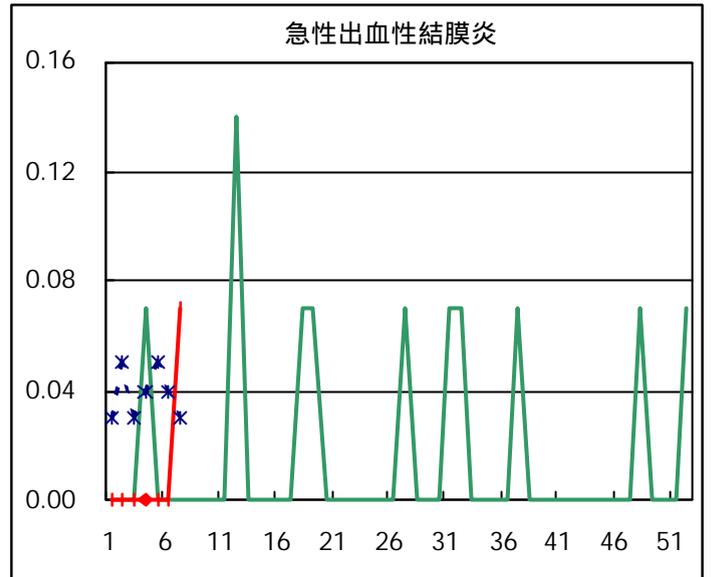
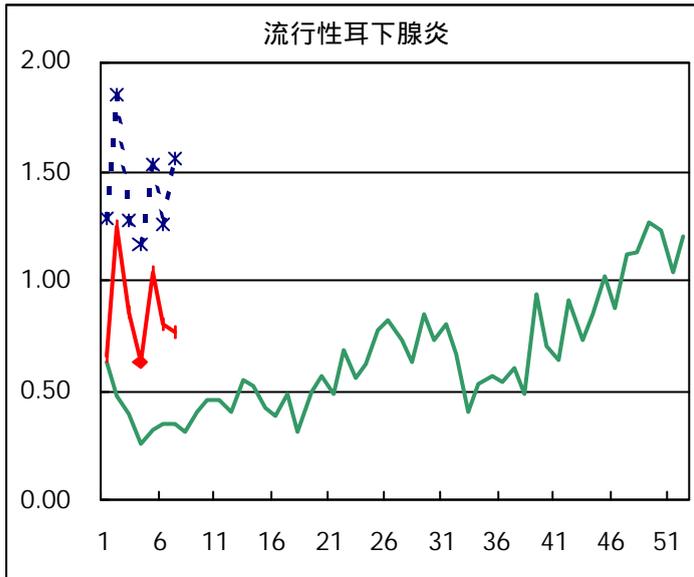
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子	14		2	15	2			3				1	5	1				43
町田	16		2	37	1		1						1			3		61
島しょ	1												3					4
多摩川	5		1	31	6			1				1						45
秋川	20		3	26	4	1	3	4					7					68
南多摩	27		1	34	3								9					74
多摩立川	17		2	19	3		3					2						46
村山大和	12			17	2	1						1	3		2			38
府中小金井	11		2	17			1	3				2	6					42
狛江調布	16	3		29	2		1	2										53
三鷹武蔵野	6			12		1	3	1					2		2			27
多摩小平	12		3	49	5	2	1	2		3			1					78
多摩東村山	12		1	31	6		2	1				1	2					56

東京都合計	434	6	47	1103	164	10	47	45	-	3	4	11	110	1	23	8	1	2017
定点当り報告数	2.44	0.04	0.33	7.77	1.15	0.07	0.33	0.32	-	0.02	0.03	0.08	0.77	0.07	1.64	0.06	0.01	

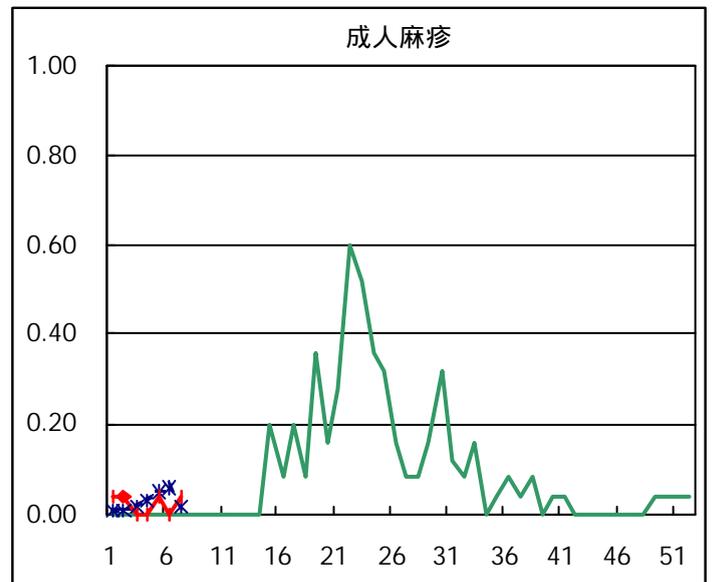
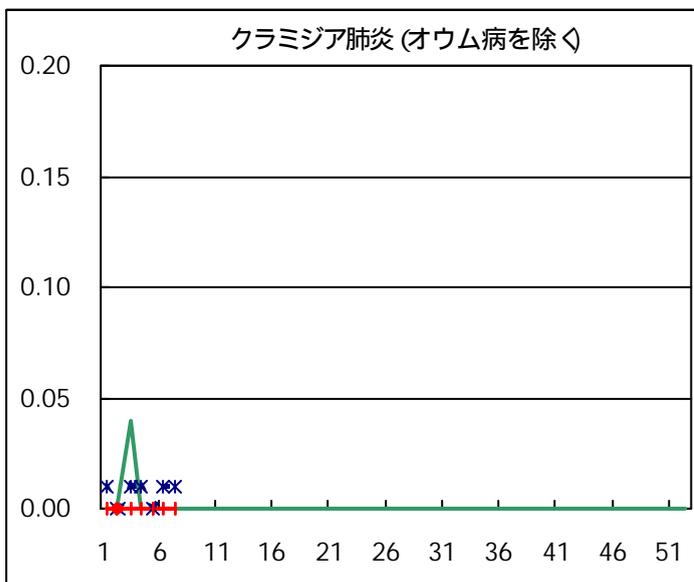
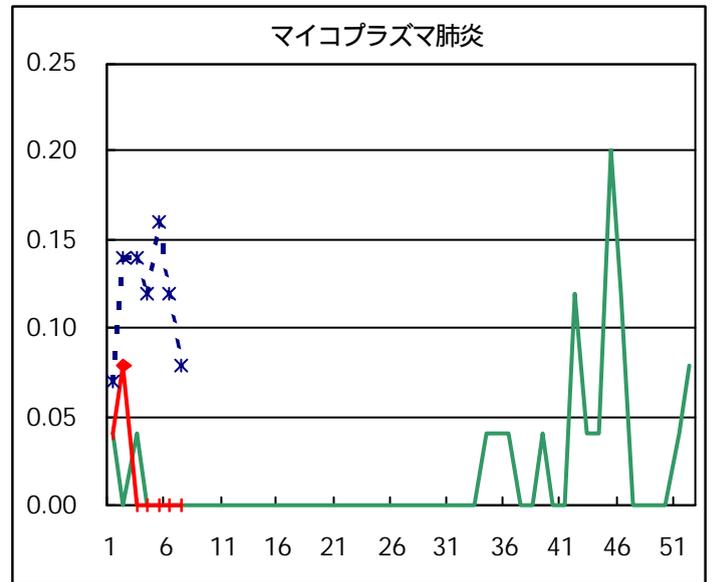
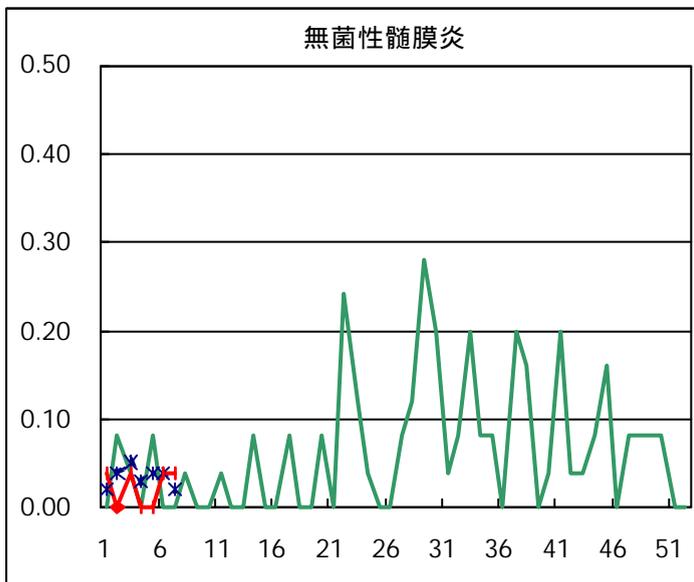
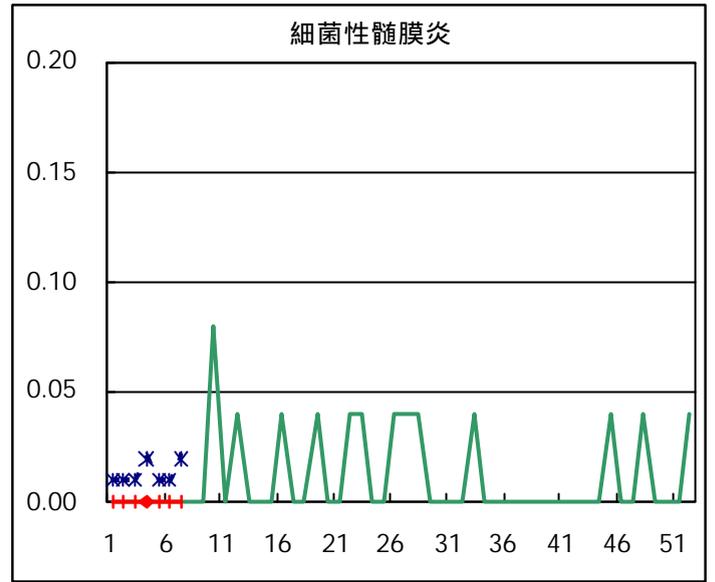
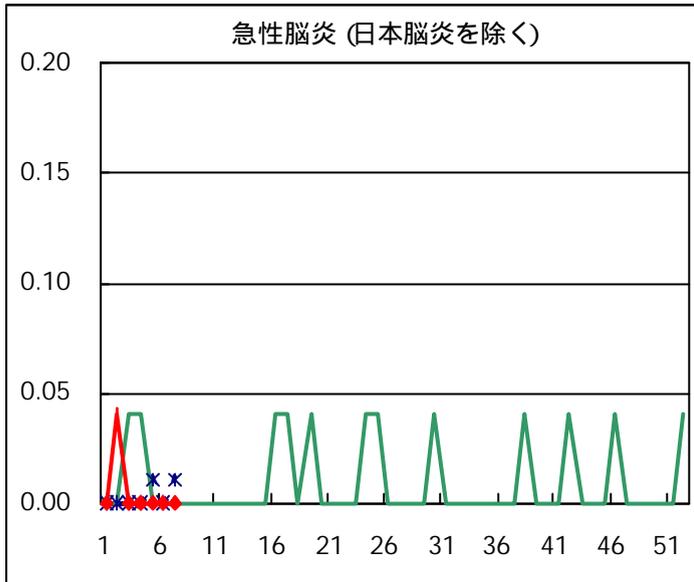
疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



無菌性髄膜炎患者検体から検出・分離されたウイルス

国立感染症研究所感染症情報センターに全国の検査機関から報告された検査データと、都内検査定点施設で採取され、都立衛生研究所ウイルス研究科で検査した検体の検査データをもとに、無菌性髄膜炎患者検体におけるウイルスの検出・分離状況を調査した。

1．全国における検査結果

無菌性髄膜炎と診断された患者由来検体についての検査データは2000年7月～12月の期間内に66例が報告されていた。検出されたウイルスの内訳はエンテロウイルスが85%、ムンプスウイルスが9%で、残り6%はアデノウイルスであった（表1および図1）。

2．都内検査定点施設で採取された検体の検査結果

2000年4月～12月の期間内に164検体を検査したところ、55検体からウイルスの遺伝子を検出した。その内訳はエンテロウイルスが76%、ムンプスウイルスが22%で、残り2%はアデノウイルスであった。なお、この中にはエンテロウイルスとアデノウイルスの両者の遺伝子が検出された1例が含まれている（表2）。

夏季にはエンテロウイルスの陽性率が高くなる傾向があり（図2）、またムンプスウイルスの陽性率は1～5歳階級をピークとして、年齢の上昇に伴って低下することがうかがえた（図3）。

表 1 . 無菌性髄膜炎患者から検出されたウイルス(国立感染症研究所感染症情報センター ; 感染症検査情報還元データ , 2000 年 7 月 ~ 12 月の期間内に全国から報告された事例)

virus	度数	%
Adeno 1	2	3.0
Adeno 3	2	3.0
Adenovirus	4	6.1
Mumps	6	9.1
Mumps virus	6	9.1
Coxsackie A9	5	7.6
Coxsackie B1	5	7.6
Coxsackie B2	1	1.5
Coxsackie B3	2	3.0
Coxsackie B4	3	4.5
Coxsackie B5	6	9.1
Echo 16	1	1.5
Echo 18	4	6.1
Echo 25	9	13.6
Echo 3	1	1.5
Echo 30	1	1.5
Echo 6	3	4.5
Echo 9	6	9.1
Enterovirus	56	84.8
合計	66	100.0

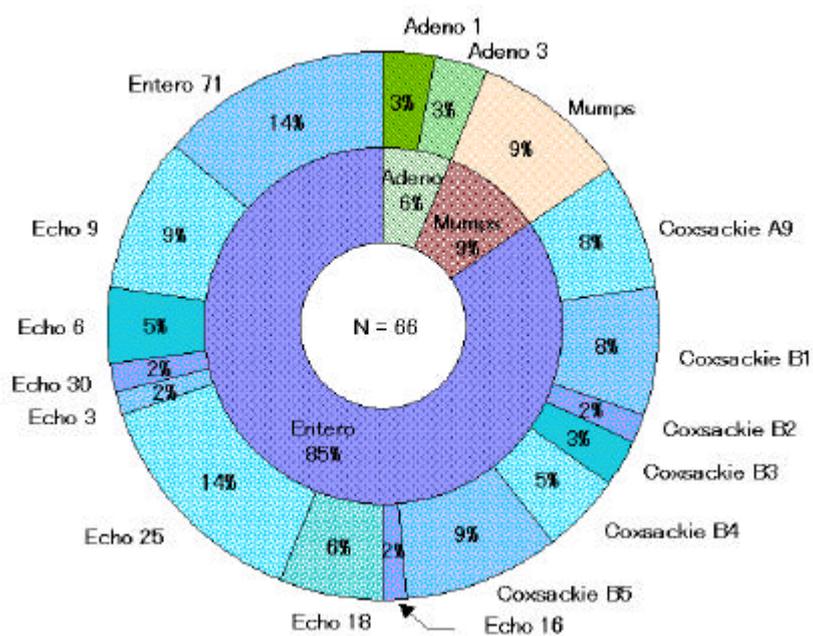


図 1 . 無菌性髄膜炎患者から検出されたウイルス

無菌性髄膜炎のウイルス検出状況（東京都）

検体採取日：2000年4月～12月末

臨床診断名：無菌性髄膜炎（髄膜炎を含む）164件

表2 ウイルス分離状況

検体採取月	搬入検体数	遺伝子検査陽性数	遺伝子検査陽性例			ウイルス分離状況										
			Entero	Mumps	Adeno	CB3	CB4	CB5	CB6	E9	E16	E25	E30	AD1		
4月	16	2	0	2	0											
5月	9	1	0	1	0											
6月	9	1	0	1	0											
7月	25	8	8	0	0	1	2		1							
8月	23	9	8	1	0	1	1									
9月	28	11	11	0	0					1*	1*			1		
10月	29	16	11#	4	1#	1		1			1*	1				1
11月	15	5	4	1	0			1								
12月	10	2	0	2	0											
計	164	55	42(76.4%)	12(21.8%)	1(1.8%)	3	3	2	1	1	2	1	1	1	1	1

(#: EnteroとAdenoの2種類を検出した患者1名 *：同一の患者の咽頭拭い液と髄液から分離)

